

6月6日 3年生 総合「門真市のすきなところ」

☆めあて:ICTツールを使って、テーマに対する考えをアウトプットする(入力練習も兼ねて)

1. 「門真市のすきなところ」を書き出す(ふきだしくん)



1 門真市のすきなところ！



2. みんなの意見を見てみよう！

・どんな意見が出てる？

5. 門真市のナゾのよそを(もつと)出そう!(ロイロノート)

なぞ1 まちなかにあらわれた きょうりゅう?! ←これってなんなんだろう!? よそしよう!



どおやってのせたの

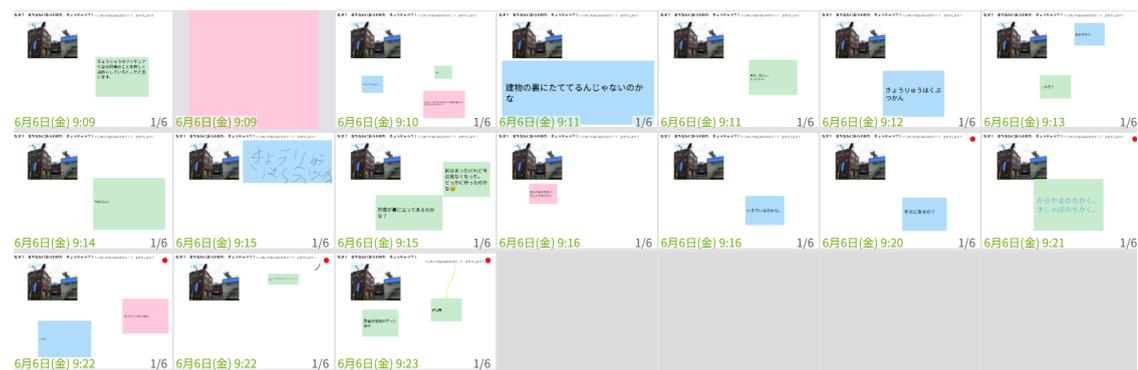
怖い。

6がつ4にちにおかどめさんと汽車ボ公園いたからみたけどなかったです

・1つのナゾに対して、1つ、2つ、3つとよそや、考えたこともくわえていきました。

6. 友だちの考え

- ・提出したともだちのよそを見る方法を教える
- ・友だちのよそを見て、自分のよそとくらべる



7. 次回の活動の見通し

【まとめ】

授業全体を通して授業者の児童に対するあたたかな声掛けと目配りによって、クラス全体に安心の場が生まれていました。

3年生もロイノートを使い始めて1週間。ずいぶん使い慣れて、入力や提出、意見の交流ができるようになってきています。

このあと、授業者と簡単なふりかえりをしました。

まずは、授業のねらいを聞くとともに、授業の良さを伝えました。

授業者としては、「ふりかえりをしたかったのですが、どのような観点でふりかえればよいか迷った」とのこと。

2年生の実践例を出し、まずは簡単な活動のあと、+（よかったこと）、-（うまくいかなかったこと）、→（つぎにどうしたらいいか）の3つの観点でふりかえるのはどうか、と話しました。

その際、その活動のねらい（例えば、今日で言うと、「意見をたくさん出すこと」について）はどうだったかを聞くとよいと思います。ふきだしくんで画面いっぱい意見を出されていたのを見て、子どもたちも自信が持てそうです。またもしかしたら、そこで意見の出し方（整理の話）が子どもから出てくるかもしれません。そうしたら大いに価値づけたいですね！！

この「ふりかえり」は、1時間の授業の週末はもちろん、様々な活動で積極的にやってみるといいと思います。給食準備、そうじの活動後、1日の終わりの会など、子どもたちが自分たちの活動をふりかえって、次にどう生かしていくかの視点を持つことができればそれぞれの学びが加速していくはずです。

次の部会でも、それぞれの学年実践を持ち寄って、話し合しましょう。

ふりかえり（セーブ）

- ⊕ 成功した、うまくできたこと。めあてをクリア。
- ⊖ 失敗した、まちがえた、できなかったこと。
- つぎは、どうするか？（計画・方法・時間）
- ! 分かったこと、大切だと思ったこと。
- ? なぜ？ どうやって？ 疑問？ 不思議？
- ☆ 「進化」「レベルアップ」したこと。

